

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年10月26日(2022.10.26)

【国際公開番号】WO2019/212956
 【公表番号】特表2021-522022(P2021-522022A)
 【公表日】令和3年8月30日(2021.8.30)
 【出願番号】特願2020-561793(P2020-561793)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 5/451(2006.01)

10

A 6 1 F 5/455(2006.01)

A 6 1 F 5/453(2006.01)

A 6 1 F 5/452(2006.01)

【F I】

A 6 1 F 5/451 V

A 6 1 F 5/455

A 6 1 F 5/453

A 6 1 F 5/452

【誤訳訂正書】

20

【提出日】令和4年10月17日(2022.10.17)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも部分的にチャンバを画定する流体不透過性バリアであって、それを貫通して延びる開口部を含み、前記開口部は対象者の尿道に隣接して配置され、又はそこに受容するように構成された、流体不透過性バリアと、

30

実質的に円筒形の単一の多孔質材料のみからなり、前記チャンバ内に少なくとも部分的に配置される、押し出し成形された流体透過性本体であって、前記単一の多孔質材料は親水性ポリオレフィンのみからなり、前記流体透過性本体は、当該流体透過性本体を少なくとも部分的に貫通して延びるポアを画定する、流体透過性本体と、

前記流体透過性本体によって少なくとも部分的に画定されたりザーバであって、前記流体透過性本体は流体を前記開口部から離して前記リザーバへ吸い上げるように構成される、リザーバと、を備える、
 流体収集装置。

【請求項2】

40

入口及び出口を含む導管であって、前記入口は前記リザーバと流体連通する、導管を更に備える、請求項1に記載の流体収集装置。

【請求項3】

前記流体不透過性バリアは前記開口部を画定し、前記開口部は女性対象者の尿道に隣接して配置されるように構成される、請求項1又は2に記載の流体収集装置。

【請求項4】

前記流体不透過性バリアは前記流体不透過性バリアの第1の端部領域に開口を画定し、前記流体透過性本体は前記開口部の少なくとも一部分を横切って延び、、

前記導管は前記開口部を通して前記流体不透過性バリアの中に、そして前記流体透過性本体の第1の本体端部にある前記流体透過性本体の前記ポアの中に延び、前記開口はそれを

50

通って延びる前記導管に対して少なくとも実質的に流体密シールを形成し、
前記導管の前記出口は前記流体不透過性バリアの外側に配置される、
請求項 2 に記載の流体収集装置。

【請求項 5】

前記リザーバは、
前記第 1 の本体端部に遠位側の前記流体透過性本体の第 2 の本体端部と、
前記開口に遠位側の前記流体不透過性バリアの第 2 の端部領域と、によって画定される
請求項 4 に記載の流体収集装置。

【請求項 6】

前記流体透過性本体の前記ボアは、前記流体透過性本体を通して前記第 1 の本体端部から前記第 2 の本体端部まで延び、
前記導管は、前記流体透過性本体の前記ボアを通して前記リザーバの中へ延び、その結果、前記導管の前記入口は前記リザーバ内に配置される、
請求項 5 に記載の流体収集装置。

【請求項 7】

実質的に前記チャンバのすべては、前記流体透過性本体、前記導管、及び前記リザーバによって満たされる、請求項 2 に記載の流体収集装置。

【請求項 8】

前記流体透過性本体の一部分は、前記流体収集装置の外面の少なくとも一部分を画定し、
前記流体収集装置の前記外面の前記部分は、ガーゼ又は他の吸い上げ材料による被覆がなく、
前記流体透過性本体の前記単一の多孔質材料の一部分は、前記開口部と前記リザーバとの間で連続的に延びて、前記開口部から前記リザーバへ任意の流体を吸い上げる、
請求項 2 ~ 7 のいずれか一項に記載の流体収集装置。

【請求項 9】

前記流体不透過性バリアは、開口近位端部及び閉鎖遠位端部を含み、
前記開口部は、前記開口近位端部から前記チャンバの中に延びる細長い開口部を含み、
前記細長い開口部は、前記流体透過性本体によって前記チャンバ内に少なくとも部分的に画定され、その中に前記対象者の陰茎を配置するようにサイズを決められ、
前記リザーバは前記閉鎖遠位端部に配置される、
請求項 1 に記載の流体収集装置。

【請求項 10】

単一の多孔質材料のみからなり、実質的に円筒形の流体透過性本体を押し出し成形する工程であって、前記単一の多孔質材料は親水性ポリオレフィンのみからなり、前記流体透過性本体は、当該流体透過性本体を少なくとも部分的に通って延びるボアを画定する、工程と、

流体不透過性バリアを準備する工程であって、前記流体不透過性バリアは少なくとも部分的にチャンバを画定し、それを通して延びる開口部を有し、前記開口部は対象者の尿道に隣接して配置され、又はそこに受容するように構成されている、工程と、
前記流体透過性本体を前記流体不透過性バリアの前記チャンバの中に挿入し、それによって流体収集装置を形成する工程であって、前記流体透過性本体は、前記流体透過性本体が前記チャンバの中に挿入されるとき、少なくとも部分的にリザーバを画定し、前記流体透過性本体の前記単一の多孔質材料は、流体を前記開口部から離して前記リザーバへ吸い上げるように構成されている、工程と、を含む、
流体収集装置を組み立てる方法。

【請求項 11】

導管の入口を前記流体収集装置の中に挿入する工程であって、前記導管の前記入口は、前記流体収集装置に挿入されたときに前記リザーバと流体連通する、工程を更に含む、請求項 10 に記載の流体収集装置を組み立てる方法。

【請求項 12】

10

20

30

40

50

前記導管の入口を前記流体収集装置の中に挿入する工程は、

前記導管の前記入口を、前記流体不透過性バリアの第1の端部領域にある前記流体不透過性バリアによって画定される開口を通して前記流体不透過性バリアの中に挿入することと、

前記導管の前記入口を、前記流体透過性本体の第1の本体端部の前記ポアの中に少なくとも部分的に挿入することと、を含む、

請求項11に記載の流体収集装置を組み立てる方法。

【請求項13】

前記流体透過性本体を前記流体不透過性バリアの前記チャンバの中に挿入する工程は、前記流体透過性本体が前記開口部の少なくとも一部分を横切って延び、前記リザーバが前記第1の本体端部に遠位側の前記流体透過性本体の第2の本体端部と、前記開口部に遠位側の前記流体不透過性バリアの第2の端部領域とによって前記チャンバ内に画定され、前記開口部は女性対象者の尿道に隣接して配置されるように構成される、ように前記流体透過性本体を前記流体不透過性バリアの前記チャンバの中に挿入することを含む、

10

請求項12に記載の流体収集装置を組み立てる方法。

【請求項14】

前記導管の前記入口を、前記流体透過性本体の第1の本体端部の前記ポアの中に少なくとも部分的に挿入することは、

前記導管が前記リザーバから、前記流体透過性本体を通り、前記開口を通り、前記流体不透過性バリアの外側へ延びるように、前記導管の前記入口を前記第1の本体端部の前記ポアの中に挿入し、前記流体透過性本体の前記ポアに通し、前記流体透過性本体の前記第2の本体端部に通し、前記リザーバの中に挿入する、ことを含む、

20

請求項13に記載の流体収集装置を組み立てる方法。

【請求項15】

前記流体透過性本体を前記流体不透過性バリアの前記チャンバの中に挿入する工程は、前記チャンバの実質的にすべてが前記流体透過性本体、前記導管、及び前記リザーバによって満たされるように、前記実質的に円筒形の流体透過性本体を前記流体不透過性バリアの前記チャンバの中に挿入することを含む、

請求項11～14のいずれか一項に記載の流体収集装置を組み立てる方法。

【請求項16】

前記流体不透過性バリアを準備する工程は、開口近位端部及び閉鎖遠位端部を有する流体不透過性バリアを準備することを含み、

前記流体透過性本体を前記流体不透過性バリアの前記チャンバの中に挿入する工程は、細長い開口部を有する前記実質的に円筒形の流体透過性本体を前記流体不透過性バリアの前記チャンバの中に挿入し、それによって前記流体収集装置を形成することを含み、前記細長い開口部は、前記流体透過性本体によって少なくとも部分的に前記チャンバ内に画定され、その中に対象者の陰茎を配置するようにサイズを決められる、

請求項10に記載の流体収集装置を組み立てる方法。

30

【請求項17】

チャンバを少なくとも部分的に画定する流体不透過性バリアと、

前記チャンバの中に延び、対象者の尿道に隣接して配置され、又はそこに受容するように構成された開口部と、

前記チャンバ内に配置され、前記開口部から任意の流体を離して吸い上げるように構成された単一の多孔質材料のみからなる、押し出し成形された流体透過性層であって、前記単一の多孔質材料は親水性ポリオレフィンのみからなり、前記流体透過性層は、少なくとも部分的に当該流体透過性層を通して延びるポアを画定する、流体透過性層と、

40

前記チャンバ内に形成され、前記流体透過性層の一部及び不透過性境界によって部分的に画定されるリザーバであって、ここで前記流体透過性層の前記単一の多孔質材料の少なくとも一部分は、前記開口部と前記リザーバとの間で連続的に延び、任意の流体を前記開口部から離して前記リザーバに吸い上げる、リザーバと、

50

入口と出口を含む導管であって、前記入口は前記リザーバまで延び、前記リザーバと前記出口との間の流体連通を供給する、導管と、を備える、
流体収集装置。

【請求項 18】

前記流体不透過性バリアは実質的に円筒形であり、前記流体透過性層は実質的に円筒形である、請求項 17 に記載の流体収集装置。

【請求項 19】

前記流体不透過性バリアは内面を含み、前記流体透過性層は前記流体不透過性バリアの前記内面の少なくとも一部分とインタフェースする外面を含む、請求項 17 又は 18 に記載の流体収集装置。

【請求項 20】

前記流体透過性層の前記外面の大部分は前記流体不透過性バリアの前記内面とインタフェースする、請求項 19 に記載の流体収集装置。

【請求項 21】

前記流体透過性層の前記単一の多孔質材料は、前記開口部にガーゼ又は別の吸い上げ材料による被覆がない、請求項 17 ~ 20 のいずれか一項に記載の流体収集装置。

【請求項 22】

前記流体不透過性バリアは少なくとも部分的に前記開口部を画定する、請求項 17 ~ 21 のいずれか一項に記載の流体収集装置。

【請求項 23】

前記開口部は、女性対象者の尿道に隣接して配置されるように構成され、前記流体透過性層は、前記チャンバ内から前記開口部の少なくとも一部分を横切って延び、前記導管の少なくとも一部分は、前記ポアを通して延び、前記導管の前記入口が前記リザーバと流体連通して配置されている、請求項 17 ~ 22 のいずれか一項に記載の流体収集装置。

【請求項 24】

前記流体不透過性バリアは、前記流体不透過性バリアの第 1 の端部領域に開口を画定し

、
前記導管は、前記開口を通して前記流体不透過性バリアの中に、そして前記流体透過性層の第 1 の端部にある前記流体透過性層の前記ポアの中に延び、前記開口は、それを通して延びる前記導管に対して少なくとも実質的に流体密シールを形成し、
前記導管の前記出口は、前記流体不透過性バリアの外側に配置される、
請求項 23 に記載の流体収集装置。

【請求項 25】

前記リザーバは、

前記第 1 の端部に遠位側の前記流体透過性層の第 2 の端部と、

前記開口に遠位側の前記流体不透過性バリアの第 2 の端部領域と、によって画定される
請求項 24 に記載の流体収集装置。

【請求項 26】

前記流体透過性層の前記ポアは、前記流体透過性層を通して前記第 1 の端部から前記第 2 の端部まで延び、

前記導管は前記流体透過性層の前記ポアを通して前記リザーバの中に延び、その結果、
前記導管の前記入口が前記リザーバ内に配置されている、
請求項 25 に記載の流体収集装置。

【請求項 27】

実質的に前記チャンバのすべては、前記流体透過性層、前記導管、及び前記リザーバによって満たされる、請求項 17 ~ 26 のいずれか一項に記載の流体収集装置。

【請求項 28】

開口部及び閉鎖遠位端部を有する本体であって、

前記本体内にチャンバを少なくとも部分的に画定する流体不透過性層と、

前記チャンバに位置決めされて、前記遠位端部にリザーバを部分的に画定する押し出し

10

20

30

40

50

成形された流体透過性層であって、前記流体透過性層は、単一の多孔質材料のみからなり、少なくとも部分的に当該流体透過性層を通して延びるポアを画定する、流体透過性層と、を有する本体を備え、

前記単一の多孔質材料は、親水性ポリオレフィンのみからなり、

ここで前記本体は、対象者の尿道が前記開口部内、又は前記開口部に隣接して配置された状態で配置されるように構成され、

ここで前記本体は、前記開口部内の前記尿道から排出される尿を受容するように構成され、前記流体透過性層は、前記尿道から排出される尿を前記対象者から離して前記リザーバに吸い上げて、導管を介して前記尿を前記リザーバから引き抜くように構成される、流体収集装置。

10

【請求項 29】

前記本体は開口近位端部を含み、前記開口部は前記開口近位端部から前記チャンバの中に延びる細長い開口部を含み、前記細長い開口部は前記流体透過性層によって前記チャンバ内に少なくとも部分的に画定され、その中に前記対象者の陰茎を配置するようにサイズを決められる、請求項 28 に記載の流体収集装置。

【請求項 30】

前記リザーバと流体連通する入口を有する導管を更に備える、請求項 28 又は 29 に記載の流体収集装置。

【請求項 31】

前記流体不透過性層は実質的に円筒形であり、前記流体透過性層は実質的に円筒形である、請求項 28 ~ 30 のいずれか一項に記載の流体収集装置。

20

【請求項 32】

前記流体不透過性層は内面を含み、前記流体透過性層は、前記流体不透過性層の前記内面の少なくとも一部分とインタフェースする外面を含む、請求項 28 ~ 31 のいずれか一項に記載の流体収集装置。

【請求項 33】

前記流体透過性層の前記外面の大部分は前記流体不透過性層の前記内面とインタフェースする、請求項 32 に記載の流体収集装置。

【請求項 34】

前記流体透過性層の前記単一の多孔質材料は、前記開口部でガーゼ又は別の吸い上げ材料による被覆がない、請求項 28 ~ 33 のいずれか一項に記載の流体収集装置。

30

【請求項 35】

前記導管は真空源と前記リザーバとの間の流体連通を供給するように構成された出口を有する、請求項 30 に記載の流体収集装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

40

流体透過性本体 120 は、流体を吸い上げ得る任意の材料を含むことができる。本明細書で参照される透過性特性は、ウィッキング、毛細管作用、拡散、又は他の類似の特性若しくは手順であり得て、本明細書では「透過性」及び/又は「ウィッキング」と呼ばれる。そのような「ウィッキング」は、ウィッキング材料の中への吸収を除外してもよい。流体透過性本体 120 は、一方向の流体移動布を含み得る。したがって、流体透過性本体 120 は、女性の尿道の周囲の領域から流体を除去し、それにより、尿道をドライなままにすることができる。流体透過性本体 120 は、一般に、流体が、チャンバ 104 内に形成された空所のリザーバ 122 (図 2A 及び 2B に示される) に向かって流れることを可能にし得る。例えば、流体透過性本体 120 は、親水性ポリオレフィンなどの多孔質又は繊維性材料を含み得る。いくつかの実施形態では、流体透過性本体 120 は、親水性ポリオ

50

レフィンなどの多孔質又は繊維性材料のみからなるか、又は本質的に親水性ポリオレフィンなどの多孔質又は繊維性材料のみからなる。流体透過性本体 120 で使用し得るポリオレフィンの例は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリイソブチレン、エチレンプロピレンゴム、エチレンプロピレンジエンモノマ、又はそれらの組み合わせを含むが、これらに限定されない。多孔質又は繊維性材料は、実質的に円筒形に押し出し成形されて、流体不透過性バリア 102 のチャンバ 104 内に嵌合し得る。流体透過性本体 120 は、様々な密度又は寸法を含むことができる。更に、流体透過性本体 120 は、様々な製造方法、例えば、成形、押し出し成形、又は焼結に従って製造され得る。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

10

【訂正対象項目名】0043

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0043】

図 4 は、一実施形態による、本明細書に開示される流体収集装置及び / 又は流体収集システムを組み立てる方法 400 の流れ図である。方法 400 は、動作 405 を含み得て、それは流体不透過性バリアを供給することを記述する。流体不透過性バリアは、少なくとも部分的にチャンバと、それを貫通する開口部を画定する。開口部は、女性の尿道に隣接して配置されるように、又は男性の尿道をそれを通して配置するように構成される。流体透過性本体は、実質的に円筒形に押し出し成形され、成形され、又は焼結された単一の多孔質親水性ポリオレフィン材料を含み得る。

20

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0050

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0050】

流体透過性層 572 は、流体透過性層 572 内にある流体が開口部 510 に逆流するのを実質的に防止するように構成され得る。したがって、流体透過性層 572 は、陰茎の周囲から流体を除去することができ、それにより陰茎をドライなままにすることができる。流体透過性層 572 は、一方向流体移動布を含み得る。流体透過性層 572 は、流体が一般にチューブ 526 に向かって流れることを可能にし得る。流体透過性層 572 は、流体を吸い上げることができる任意の材料を含み得る。例えば、流体透過性層 572 は、親水性ポリオレフィンなどの多孔質又は繊維性材料を含み得る。いくつかの実施形態では、流体透過性層 572 は、親水性ポリオレフィンなどの多孔質又は繊維性材料のみからなるか、又は本質的に親水性ポリオレフィンなどの多孔質又は繊維性材料のみからなる。流体透過性層 572 で使用し得るポリオレフィンの例は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリイソブチレン、エチレンプロピレンゴム、エチレンプロピレンジエンモノマ、又はそれらの組み合わせを含むが、これらに限定されない。流体透過性層 572 は、様々な密度又は寸法を含むことができる。更に、流体透過性層 572 は、様々な製造方法、例えば、成形、押し出し成形、又は焼結に従って製造され得る。流体透過性層 572 は、実質的に円筒形であってもよく、流体不透過性層 568 内に嵌合してもよい。いくつかの実施形態では、流体透過性層 572 の外面 573 (図 5 C に示される) の大部分は、流体不透過性層 568 の内面 559 (図 5 C に示される) とインタフェースする。

30

40